

## 雌阿寒岳

○2006年3月22日の雌阿寒岳ポンマチネシリ火口底の様子

22日午前9時頃、上空から雌阿寒岳の調査を行った(協力:北海道新聞社)。得られた画像から赤沼火口の西～南部の火口底について、立体視画像を作成することができた。

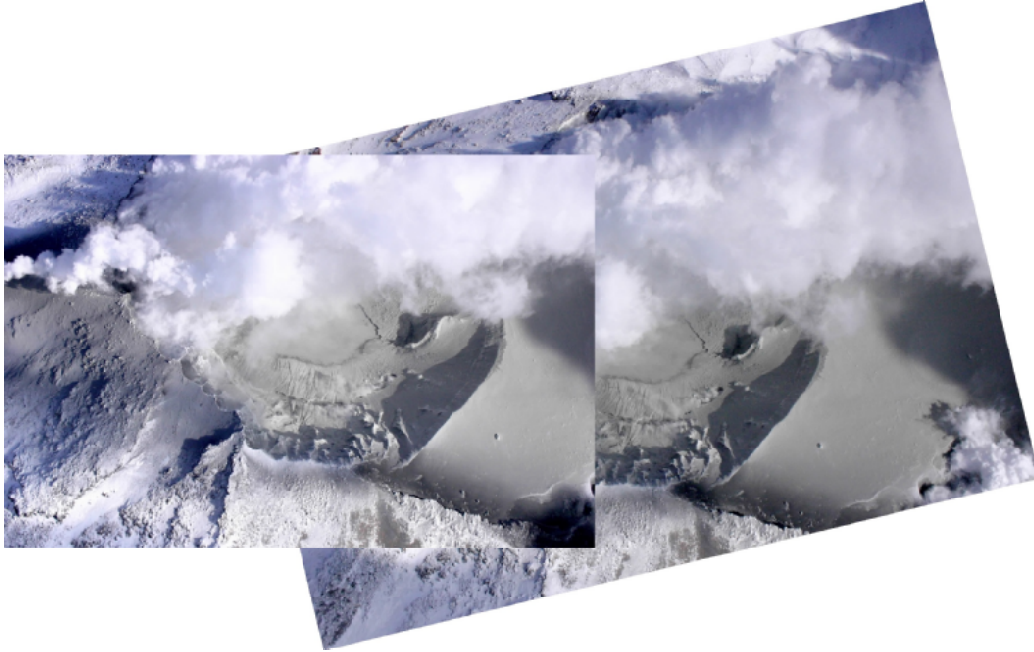


図1. 赤沼火口南西方上空より見た火口底の様子(立体視画像)。

- ・赤沼火口底には、直径150m程度の緩やかな丘のような地形が見え、丘の中央には、直径100m弱の平坦な場所がある。これは泥池のように見える(図2)。
- ・丘の斜面には雨裂のような筋(流痕)が放射状に広がっている(図2)。
- ・丘の裾野には、丘の裾野を取り囲むように「割れ目」が見え、弱い噴気(もしくは透明な噴気)を噴出している(図2)。

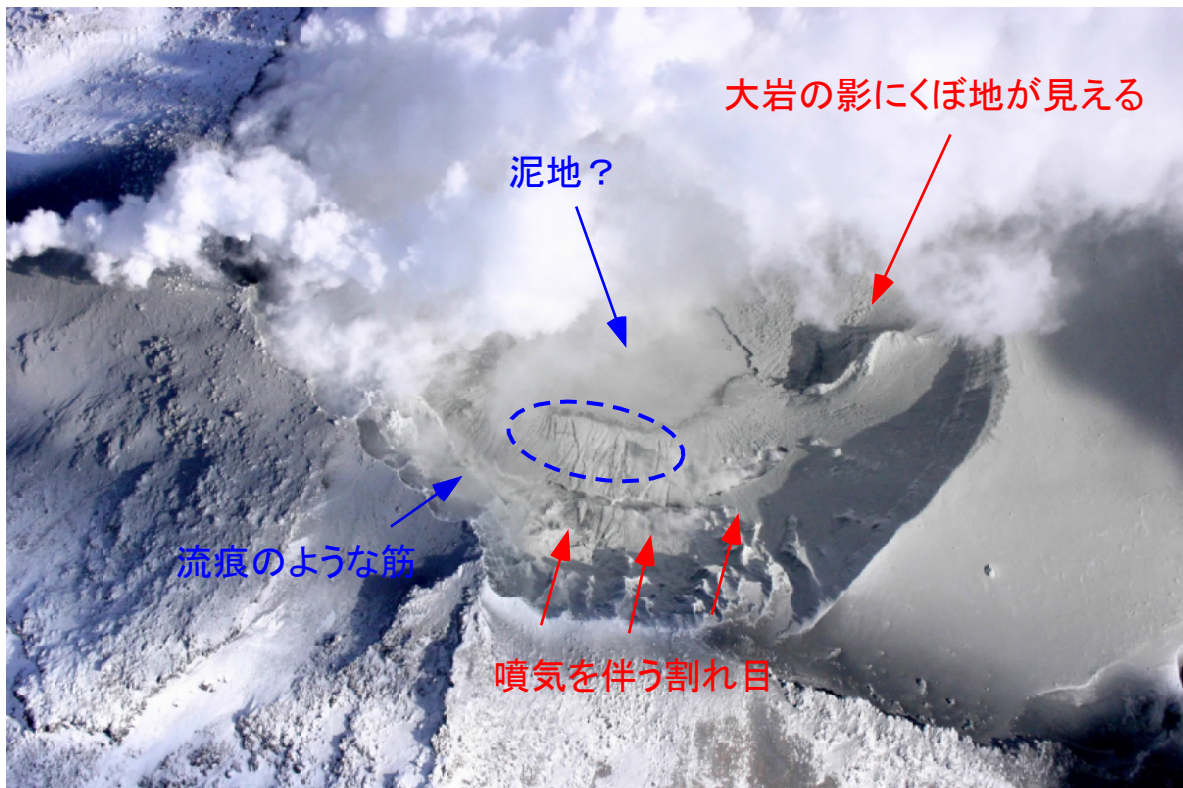


図2. 火口底の解説図. 図1に使用した写真と同じ.

(寺田)

14日の画像(図3)を見ると、図2の丘様の地形は、以前は斜面になっていたことがわかる。つまり、斜面の上部が消失して泥沼に置き換わったように見える。ただし、積雪によって原地形の詳細が不明なため、更に確認が必要である。また、旧火口に存在していた青沼火口は、噴出物によりかなり不明瞭になった(図4)。このことは、当地で堆積している噴出物の厚さがメートルのオーダーにあることを示唆する。ただし、光線の加減による見かけ上のものかも知れず、こちらも更に検討が必要である。

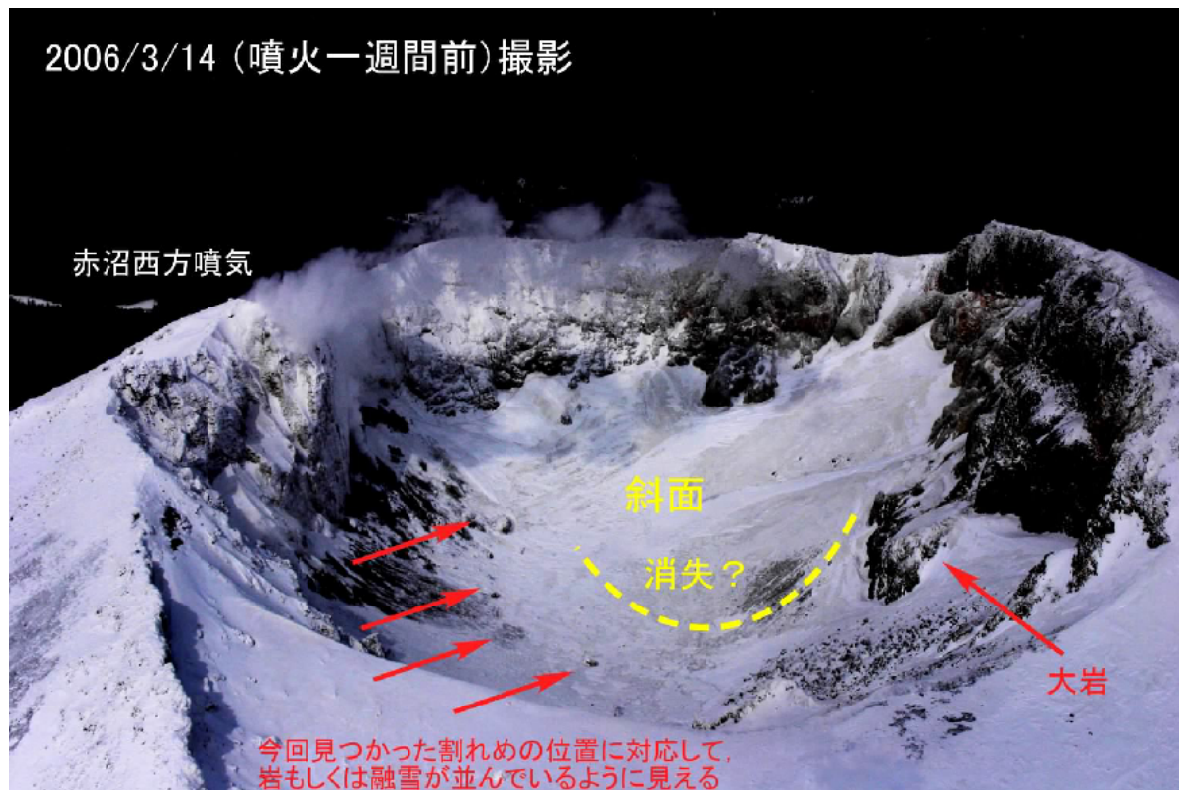


図3. 2006年3月14日に南上空から見た赤沼火口底の様子。(協力:北海道開発局)



図4. 西方向から見た青沼火口周囲の様子。

(寺田)